

第4回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護
□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護
□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日時：令和6年11月20日（水）9：30～10：30

場所：第一会議室

出席者：9人

駐在所巡查長	1人	知見を有する者	1人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	欠席
事業所職員（職名：管理者、主任）			3人

議題：

1. 登録実績と利用状況について 別紙レジュメ参照

2. 活動状況報告 別紙レジュメ参照

入退去について：9月 入居1名 退居2名

10月 入居1名 退居1名

①運営推進会議検討項目

No.35：役割、楽しみごとの支援

- ・ 役割を増やす取り組み（自室以外）ホール清掃、食器洗いなどの家事炊事
- ・ 調理：月1回、おやつ作り週1回
- ・ 楽しみ活動：庭の花壇づくり、畑の芋掘り 習字等、12月外出、餅つきを予定

No.48：本人が持つ力の活用（近隣、地域との交流）

- ・ 朝波小児童下校時の見守り
- ・ 11/9（土）波根町文化祭での作品展示に向けて創作活動継続
- ・ 家族と協力して外出外泊の取り組み
9月：外出8件、10月外出13件、外泊1件

②外部評価関連

※No.12 職員を育てる取り組み

(外部研修)・

- ・ 10/3 認知症実践者研修 2名
- ・ 10/17 グループホーム部会研修 5名
- ・ 10/23 生産性向上研修 1名
- ・ 10/31 認知症リーダー研修 1名

※No.25 防災対策

11/20 13:30 日中想定避難訓練、消火器訓練 地域の方へ回覧にてご案内した。

3、その他

- ・ 行事報告 9/16 敬老会実施
- ・ 意見交換

Q：GH部会での研修というが、部会というのはどういうものか。

A：大田市の介護サービス事業者の協議会があり、その中で事業ごとに集まって分科会を作っている。市内5か所のグループホームで部会を開催して横の連携や質の向上を図っている。今年度は年3回の研修を予定。

Q：認知症チームケア推進体制加算はたてがみしか取っていないということだがグループホーム部会全体で取り組めば報酬が増えるということがあるのか

A：そういうことはないが、地域の方がどのグループホームを選んでも質の高いサービスを受けられるように底上げをしていかなければならない。その一環で研修や情報交換など横のつながりを持つようにしている。

Q：近隣の認知症によると思われるトラブルが駐在に寄せられることがある。そういう相談は包括に相談すればよいのか。

A：認知症は早期発見と適切な治療、周囲の理解も必要である為、地域包括支援センターに相談するのはよいと思う。グループホームも地域における認知症ケアの拠点としての役割がある為、運営推進会議を通じて認知症についての不安や相談など住民の方の声があれば挙げてもらいたい。

Q：大田市の高齢化に伴い、申し込みは増えているのか。

A：申し込み自体は急増していないが、老々介護や独居等の方の申し込みは多い。また、入居時点で90歳以上の年齢に達しているか方も増えているので、在籍期間は短くなっている状況はある。

次回開催日：令和7年1月15日（水曜日）9:30～10:30